

プロトコール名 腎盂尿管癌 キイトルーダ療法

適応 腎盂尿管癌

条件 白金製剤による治療歴のある症例に限る

投与期間 3週を1コースとして使用

投与計画	薬剤名	基準量
	キイトルーダ	200 mg/body

薬剤名	投与量	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
キイトルーダ	200mg/body			↓																			

(day1)

- ①生食100ml(ラインキープ)
- ②生食100mL+キイトルーダ 200mg/body (30min)
- ③生食50ml (5min)

生食100ml	キイトルーダ 生食100ml	生食50ml
	30分	5分

キイトルーダは0.22ミクロン以下のインラインフィルターを使用して投与すること

●休薬・減量基準

・次表の基準を参考に、減量・休薬をおこなうこと

間質性肺疾患		Grade1以下に回復するまで、休薬
	Grade2	4週間を超えてGrade1以下に回復した場合には、投与間隔を3週間間隔として再開 12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合には投与中止
	Grade3以上またはGrade2の再発	投与中止
大腸炎/下痢		Grade1以下に回復するまで、休薬
	Grade2または3	12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合には投与中止
	Grade4	投与中止
AST・ALT		3×ULN以下に回復するまで、休薬
	3～5×ULN以上	12週間を超える休薬後も3×ULN以下まで回復しない場合には投与中止
	5×ULNを超える	投与中止
<b>※肝転移症例で治療開始時Grade2かつベースラインから50%以上の増加が1週間以上持続する場合、投与中止</b>		
総ビリルビン		1.5×ULN以下に回復するまで、休薬
	1.5～3×ULN以上	12週間を超える休薬後も3×ULN以下まで回復しない場合には投与中止
	3×ULNを超える	投与中止
腎機能障害		Grade1以下に回復するまで、休薬
	Grade2	12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合には投与中止
	Grade3以上	投与中止